

県民クラブ 県外調査

坪口農事 未来研究所

4/14



同研究所は、コウノトリも住める環境保全型農業やスマート農業、6次産業化を展開し、強い農業経営を目指しています。今後は環境再生型有機農業の認証取得や農法面積の拡大を目標に、地域住民の理解と協力を得ながら事業を推進する方針とのこと。この視察を通じて、コウノトリの保護や絶滅の危機を乗り越えた実体験が、現地における環境保全への強い意欲を醸成していると感じました。大分県においても地球温暖化対策や生物多様性の確保について広く啓発を促すとともに、行政とJAが一体となって生産者を支えるシステム改革に注力していく必要性を強く実感しました。

コウノトリ 文化館

4/15



野生絶滅から野生復帰に至る歴史や、人と自然が共生するまちづくりの歩みを動画で視聴しました。館内では、飼育個体の観察や解説を通じ、米作りがコウノトリの生息を助けてきた背景を学びました。また、豊岡市では、人工繁殖と2005年の放鳥を経て、野外個体数は500羽を超えています。減農薬の「コウノトリ育む農法」を四位一体で推進し、ブランド米の全国出荷や給食採用へ繋げているそうです。環境保全・農業振興・経済効果を両立する仕組みは大変参考になりました。県民クラブとして、農業・化学肥料に依存しない環境創造型農業の拡大、地域固有の自然資源を活かしたブランド戦略、生産者・JA・行政が連携する「四位一体」の推進体制の大分県農政への導入などを積極的に提言していきたいと思っています。

京都府立 京都スタジアム

4/15



2020年に開場した収容21600人の球技専用スタジアムで、サッカーやラグビー等の国際試合、音楽イベント等に対応しており、全席を覆う大屋根やピッチとの高低差1.2mが生み出す圧倒的な臨場感が特徴です。施設内にはクライミングやeスポーツゾーン、保育園、防災倉庫等も併設され、命名権やスポンサー活用、指定管理者制度により経営は安定しています。このような多彩な複合機能による非試合日の賑わいと安定運営の両立は、大分スポーツ公園等の再整備に不可欠な視点です。Park・PFIの活用による民間活力導入、多機能複合化による非試合日の稼働率向上、安定的財源確保の仕組みづくりを県へ積極的に提言していきたいと思っています。

交通税

4/16



滋賀県では、地域交通を道路と同様の「社会インフラ」と位置づけて5年間の計画を策定しており、現在は県民との対話を重ねながら、新税（県税の付加課税方式）の導入による財源確保を含めた具体的な制度設計が進められているとのことでした。質疑応答では、無人駅のバリアフリー対応や新税導入前における住民の意識醸成、市町をまたぐ広域連携交通の必要性について活発な意見交換が行われたそうです。「どこに住んでいても移動できる社会」の実現を目指す姿勢は、大分県が抱える交通課題にも共通しており、大変参考になりました。県民クラブとして、継続的な対話の場を設け、福祉やまちづくりと一体になった持続可能な地域交通の実現に向けて、政策提言に取り組んでいきたいと思っています。



表紙写真背景について

昨年4月、大分空港が「大分ハローキティ空港」という愛称で新たにスタートしました。また、ハーモニランドができて35年。長期滞在型リゾートとしての魅力発信するため「エンタメリゾート化」へと動きだしました。大分県庁の玄関に置かれているハローキティ前で。

県議会ホームページにて 一般質問の中継録画を 視聴できます

県議会HPにて過去分も含め、各議員の代表・一般質問の全録画を視聴できます。



<https://oita-pref.stream.jfif.co.jp/>

意見書の採択状況

2026年 第2回定例会

皇室の伝統に基づく安定的皇位継承を確保するための法整備の早期実現を求める意見書	×	○	○	×	○	○	○	可
地方財政の充実・強化を求める意見書	○	○	○	×	○	○	○	可
2026年度大分県最低賃金の改定等に関する意見書	○	×	○	○	○	○	×	否
ゆたかな学びの実現と教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度充実強化に係る意見書	○	○	○	○	○	○	○	可
「国旗損壊罪法案」の慎重な審議と的確な判断を求める意見書	○	×	○	○	×	○	×	否
ドナーミルクの利用拡大を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	可
住まいの安定と居住支援の抜本的強化を求める意見書	○	×	○	○	○	○	○	否
核兵器禁止条約第一回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書	○	×	○	○	○	○	×	否
非核三原則の堅持を求める意見書	○	×	○	○	×	○	×	否